

【緊急情報】葉色急低下！早急に2回目穂肥実施！

平成30年7月26日
糸魚川農業普及指導センター

- 高温・無降雨の状態が続き、コシヒカリは1回目穂肥を施用後も葉色が低下したまま回復の鈍いほ場が多くなっています。
- ただちに2回目の穂肥（窒素成分で10アールあたり1.8kg）を確実に施用してください（遅くとも7月28日までに）。
- 夜間の気温も高い状態が続いているため、できるだけ本田の水の更新を夕方に実施してください。

1 7月25日のコシヒカリの生育状況

表 前回(7/19)調査からの葉色値の変化

(単位:SPAD値)

| 地点 | 7月19日 | 7月25日 | 前回差 |
|-----|-------|-------|------|
| 成 沢 | 31.8 | 32.0 | 0.2 |
| 西川原 | 31.4 | 29.3 | -2.1 |
| 根小屋 | 33.5 | 31.1 | -2.4 |
| 楨 | 32.4 | 31.2 | -1.2 |
| 東 海 | 30.1 | 29.6 | -0.5 |
| 滝川原 | 31.0 | 30.1 | -0.9 |
| 平均 | 31.7 | 30.6 | -1.1 |
| 指標値 | 33.0 | 32.5 | 指標値差 |
| | | | -1.9 |

- ・表のとおり、1回は穂肥が施用されているにもかかわらずコシヒカリ生育調査ほの葉色は前回調査より低下しており平均で1.1ポイント低い。
- ・7月25日頃の葉色目標SPAD値32.5を1.9下回っている。十分な後期栄養確保のため、出穂期に目標SPAD値33.0を確保することが必要である。

- ・高温が続き幼穂伸長期間が短縮しており、コシヒカリの出穂は、5月上旬植えで8月1日頃からと予想される。

2 今後の対策

- ・2回目穂肥施用後も葉色が薄い（SPAD値32未満）場合、出穂直前（走り穂）までに3回目の穂肥を窒素成分で10アールあたり1.0kgを施用する。

熱中症を防止するため、農作業は気温の高い時間帯を避けるとともに、水分補給をこまめに行うなど十分注意してください。